

最新 3D プリンターの応用とシステム技工による時短  
～3D プリンターのクオリティーはここまで来ている～

小野寺保夫

近年、3D プリンターの関連器材の著しい進歩により、クラウンブリッジからパーシャルデンチャーワークのワックスアップが可能となり、加えて従来のクイック埋没材の使用も可能となりました。さらに従来技工の鑄造、研磨のシステム化を図ることで品質を確実に担保しながら時短とコスト削減も可能です。そこで今回はさまざまな角度からシステム化による時短をテーマに述べさせていただきたいと考えております。